

# 令和4年度第1回出雲市スポーツ振興審議会 議事録

1. 開催日時 令和4年6月30日(木) 10:00~11:30

2. 開催場所 出雲市役所4階 共済会会議室

## 3. 出席者

(委員)

会長	成相 善美	(出雲市スポーツ協会会長)
副会長	安喰 公美	(レクリエーションスポーツ代表)
委員	青木 敏章	(出雲市スポーツ協会副会長)
	糸原 進	(出雲市中学校体育連盟会長)
	大森 正義	(出雲市スポーツ少年団本部長)
	久家 彰	(島根県スポーツ推進委員協議会会長)
	佐々木由紀子	(出雲市スポーツ推進委員)
	水津 則義	(島根県高等学校体育連盟副会長)
	土江 孝夫	(出雲市スポーツ推進委員協議会会長)
	手銭 俊夫	(出雲市小学校体育連盟会長)
	寺本 淳一	(出雲市議会スポーツ推進協議会会長)
	野津 修一	(出雲市身障者福祉協会副会長)
	安井 孝治	(出雲市教育委員会副教育長)
	矢田 栄子	(特定非営利活動法人出雲スポーツ振興21常務理事)
	山根千恵美	(出雲市スポーツ推進委員)

(15名)

※欠席者2名(天根佑介委員、若槻かおり委員)

(事務局)

岡 眞悟	(市民文化部長)
矢田 和則	(文化スポーツ課長)
大菅 健一	(文化スポーツ課主査)
藤井 武	(文化スポーツ課新体育館整備室室長)
勝部 宏樹	(文化スポーツ課スポーツ振興係係長)
原 彩恵子	(文化スポーツ課スポーツ振興係副主任)
小村 修平	(文化スポーツ課スポーツ振興係主事)

(7名)

## 4. 会議内容

### (1) 岡部長挨拶

岡部長から挨拶

### (2) 審議会委員の委嘱及び紹介

事務局から委員紹介

### (3) 議事

#### 議事① 会長・副会長の選出について

(事務局：矢田課長)

出雲市スポーツ振興審議会条例第5条に基づき、委員の互選により会長、副会長を選任したい。

意見があるか。

(大森委員)

私も続いての委員ということで、頑張っていきたいと思う。よろしく願います。

今まで一緒に委員をしていた方もたくさんいらっしゃるため、昨年度に引き続き、会長を成相委員、副会長を安喰委員にお願いしたらどうかと考えるがいかがか。

(事務局：矢田課長)

ただいま大森委員から、会長に成相委員、副会長に安喰委員の推薦があったが、他に意見はあるか。

—委員了承—

それでは、互選により、会長は成相委員、副会長は安喰委員で決定させていただく。会長、副会長、席の移動願います。

それでは会長、副会長から一言ずつ御挨拶をお願いする。

(成相会長)

昨年に引き続き、会長をということで、一生懸命頑張りたいと思う。

どうぞよろしく願います。

(安喰副会長)

副会長ということで、私も昨年に引き続き、皆さんと一緒に頑張りたいと思う。

よろしく願います。

(事務局：矢田課長)

それでは、これからの議事進行については、会長に願います。

#### 議事② 出雲市スポーツ推進計画の進行管理について

(成相会長)

議事2 出雲市スポーツ推進計画の進行管理について、事務局から説明をお願いする。

(事務局：勝部係長)

議事2 (資料1、2) について説明

(成相会長)

議事2 について説明があったが、委員の皆様から、質問・意見等があるか。

(事務局：矢田課長)

実績を見ていただくとわかるが、全体的にコロナ関連が目立つところかと思っ  
ている。大きく影響を受けた令和2年に比べると、少しずつは回復している傾向があ  
る。市のイベント関係も、コロナ対策を万全に、様々な工夫をして実施させていた  
だき、多くの皆様に喜んでいただけたと考える。特に、駅伝は無観客で実施したが、  
視聴率もアップするなどの効果も見えた。今年度もコロナ対策を事務局で考えなが  
ら実施に向けて進めており、コロナを見据えた形での事業実施を行っていきたく  
と考えている。

(青木委員)

計画のどこのという話ではないが、実績の資料をパッと開くと、幼児期の記載が  
あるが、今すごく思っているのは、第2期出雲市スポーツ推進計画の期間が始まる  
今年度からのこの5年間は、かなり大きな変化がある。スポーツの取り巻く環境と  
か、その制度とか、子どもが関わる部活動が大きく変わる。

その中で、この先、2030年島根県国スポでは、出雲市で10近くの競技を受け  
る。そこに出雲市の子どもたちが、出雲市民がどれだけ参加できるかということ  
を考えたとき、この前、小体連の手銭先生が中心となり、小学校の陸上大会が開催さ  
れたが、悲惨な状況であった。小学校の子どもたちの走る姿が、特に6年生の女子  
が、普段動くことをしてないんじゃないかという状況であった。運動している子ど  
ももいるかもしれないが、していない子どもが多いという感じをすごく受けた。  
転ぶんじゃないか、走り切れないんじゃないか。そういう状況がある。

コロナも大きく影響しているかもしれないが、これはコロナだけじゃなく、スポ  
ーツを取り巻く環境が非常にいい状況ではない。

また、運動部活動の地域移行に関する国の資料の課題のところいろいろな書いて  
あるが、全国では、「地域では、スポーツ団体や指導者と学校との連携協働が十分  
ではない」と書いてある。出雲市の資料では、行われてると書いてあるが、どこを  
取って、出雲市で連携が取れているのか、全国では増えてない地域が多いが、出雲  
市は違うよという、その辺りは、どうかなという気がする。つまり、地域移行する  
ときに、本当に連携が取れてるなら、その方面からできるのではないかと思うが、  
うーんというのが正直なところである。

そしてもう一つ言うと、スポーツ庁が出した提言は、日本全国、北海道から沖縄  
まで同じように出しているが、地域によって全然違う環境がある。都会地などは、  
民間の力がかなり入っており、小さいNPOだけで、町ぐるみでやってるようなと  
ころもあるが、出雲市の規模は、町ぐるみでやっていくにはちょっと大きい、か  
といって民間でというのもなかなかない。その中でどうやって地域移行していくの  
かというのは、大きな課題だと思う。

具体策がなく、課題ばかり申し訳ない。感想のような発言だが、今思っていること  
を述べさせていただいた。

(矢田委員)

NPO 法人出雲スポーツ振興21に所属している。その他に出雲市スポーツ協会、  
出雲市スポーツ少年団、出雲市スポーツ推進委員協議会の事務局も担当している。  
青木委員の発言にあったが、それ以外に出雲ドームや県立浜山公園などの指定管理  
者として管理をさせていただいている。

実は、今年の4月～6月において、参加選手の方々のけがが、例年に比べると非

常に多く発生している。救急車を呼ぶ回数も、小学生、中学生、高校生の大会では非常に目につくほど多くなってる。

この2年間、なかなか大会も思うようにできず、練習試合なども、かなりの長い期間、制限がありできてなかったという背景もある中、現状としては、このような影響も出てきており、審判の皆さん、先生方も御苦労されているのではないかなと思う。

話は違うが、実績の資料にある、少年少女スポーツ振興事業の令和3年度のスポーツ好きっ子育成事業は、NPO法人出雲スポーツ振興21において担当させていただいた。開催時期が1月、2月、3月の予定であったが、ちょうど子どもたちのコロナ感染が非常に多く、部活動の停止等の要請もあったような時期だったため、開催3日前ぐらいに中止を判断せざるを得ない状況だった。申し込みの状況を見ると、定員を超える多くの未就学児の皆さんの応募があり、抽選をせざるを得ないほどの反響があり、クラスの増設を検討するほど申し込みをいただいたところであった。スポーツ活動する場がなく、皆様が活動の場を待っておられたところだったが、残念ながら、中止せざるを得ず、かかった経費だけ市で負担された。

選手強化については、スポーツ協会でも、市の事業として事業をしているが、個人の競技には事業を割り振りがしやすいが、チームの競技に対しては選手強化事業が少ししにくい制度であるように思う。

好きっ子事業が小学生の体力づくりやスポーツをやる方向に進ませる、そして中学生に対するスポーツ協会の選手強化事業、そういった事業が繋がって流れ、2030年にいくといいなと思っている。

#### (大森委員)

好きっ子事業ができなかったという話が出ているが、コロナの影響だけでなく、今一番問題になっているのは周知である。人を集める方法が全くない状態で、全くないというのは言い方が悪いが、今までは、学校で、生徒さんに対してチラシを個別配布することができ、申込みをいただけたが、今は据え置き配布となり、昇降口の方に置くというような形になっているため、その状態では、なかなか全員に周知していくのが難しくなった。これからも好きっ子事業の実施はしていきたいが、そういった周知などが非常に困難なところがあるというところを、何か考えていかなければならないのではないかなと思っている。

また、いつも体育館が使えないなど、いろんな施設が使えなくなってきている。新体育館も建設中だが、既存のスポーツ団体の皆様の使用が非常に多く、出雲市内の会場の確保も大変難しくなってきている部分もある。

好きっ子事業は、特に小学校1年生から3年生の子どもさんや、幼稚園、保育園の子どもさんたちの需要がすごくあるため、ぜひ開催したいという思いを持っているが、壁もあり、いろいろ考えてるところである。

#### (手銭委員)

先ほど話題になったが、昨今、やはり児童の基礎的な体力の低下が非常に顕著に見られる。今朝も学校で立っていると、水筒などの荷物をランドセルに背負う児童がバランス崩して倒れる、歩いていて転ぶ、それから暑いため、保護者の方が送迎するという例がある。一方で、学校でやってることの一つは体育の授業、それ以外では、業間マラソンなどを実施している。帰ってからの運動の量、質が期待できないところを、学校から帰るまでのところで何とか補うということで時間を使ってい

るが、苦慮しているということがある。

もう一つは、先ほどもあったが、100メートル走など、その他の記録も極端に秒数が落ちており、昔との比較はとても意味がない状況である。そこをこれからどうやって高めていき、国スポなどにつなげていくか。小学校卒業後の中学校の部活動頼みというところがあり、非常に大きくしわ寄せがいくと言ったらよくないが、部活動から果たして離すことができるだろうかということも少し心配している。

#### （寺本委員）

個人的な意見だが、特に昨年度、一昨年度はコロナの影響があり、なかなか外に出ることが少なくなった影響もあると思うが、子どもたちや親は、eスポーツや、ゲームへ向かう傾向が非常にあったのではないかなと思う。スポーツゲームをすることにより、スポーツをした気持ちになり、それを代替としてしまうという傾向が非常にあるのではないかと思っている。これが今後続いていくようであれば、いわゆるスポーツとeスポーツで二極化していくのではないかと思っている。これが、良い、悪いではなく、今後、スポーツが発展していくには、やはり家庭教育、学校教育が非常に重要になってくるのではないかという気がしている。

それと、小学校で部活をするようになる年齢について、3年生なのか4年生なのかはっきりとはわからないが、それまでに体力をつける、いわゆる公園が出雲市には非常に少ないと思っている。近くの公園で遊びまわることなど、子どもたちの成長のためには、体力づくりのため、健康づくりのためにも必要ではないかと思っている。もう少し、出雲市にも、走り回れる公園を身近な場所に作っていくべきではないかと感じている。これが効果があるかどうかはわからないが、あくまでも私の個人的な意見として、述べさせていただいた。

#### （糸原委員）

中体連の担当をしており、中学校について、今、非常に話題になってるのが、やはり部活動の地域移行の問題であり、差し当たって、来年度から3か年間で、休日の部活動の地域移行ということ、何とか一歩でも踏み出さなければいけないという思いはある。市の部活動のあり方検討委員会や校長会でいろいろな話をしたり、あるいは私が会長をしている市の中体連、また県の中体連でも、どういう形でできるのかということ、いろいろなシミュレーションをしている。ただ、いろいろな角度から話を持っていっても、必ず壁にぶち当たるところがあり、非常に難しさがある。とは言いながら、私自身の課題でもあるが、教員も意識改革していかないと、ちょっと前に向かえないなということがある。確かに中学校の部活動は教育活動の一つとして位置付けられてはいるが、ここは非常に難しいが、休日に教科指導を行わないのと同じように、部活動の指導も行わなくていいんだという意識、あるいは休日に部活動指導をしたくない教員については、気兼ねなく休んでもらうというような環境づくりをしていかなければいけないと思っている。その意識改革については、私自身の課題でもあるし、学校の中での課題でもあるが、やはり保護者や地域の方に、教員が本当に多忙で苦しんでるという状況を理解してもらわないことには、なかなか前に進んでいけないのかなと思っている。少し話は違うかもしれないが、こういったスポーツ振興審議会、スポーツを取り巻く環境についての地域の方へのPRなども同時に進めていただけたらなということをお願いしている。

#### (水津委員)

この会議の答えになるかわからないが、高校については、体育系だけの話ではないと思うが、保護者の部活動に対する期待やニーズは高い。高校もいろいろあるが、学力を身につけることにプラスアルファで部活動というのは、子どもたちが社会に出たときの人間性や人間力を高めていくために非常に重要なツールだと思っているため、生徒の部活動をしている場面を見ると、昨今いろいろ心配されていることは、普段あまり感じない。高体連もあるが、高野連の会長もやらせてもらっていて、野球をする子どもたちの普段の姿を見てると、また昨今心配してることはどこにいったのだろう、ということは一瞬思うが、ただ、全体的にはそうではないところもあると思うため、高等学校の方は当面引き続き現状の形で、部活動を推進していく形でスポーツの振興につながっていけばいいところはある。

それから、体力的な面でいうと、ここ10年ぐらいすごく感じていることは、中学校も同じかもしれないが、バレーボールなどを種目にした球技大会が学期末にある。部活動に入ってた子どもたちは、球技大会のヒーローになっていたはずだが、最近はそうではなくなってきた。昔はバレーの上手い野球部員とか、バスケットの上手いサッカー部員などがよくいた。体育の授業をたまに見せてもらうが、やはりいろいろなことに親しんでこないといけないなという話をしている。

体育の先生に聞くと、1年生の時からきちんと授業の中でやっていくと、3年生になって、随分上手くなるという話もある。やはり、それぞれの年代で、いろいろな競技に親しみながら、スポーツは楽しいものだというところを伝えられたら。また、昨年からは、スポーツ嫌いにならない指導をしようということで、職員で研修したりしている。

#### (久家委員)

スポーツ推進委員については、コロナの影響により、大人数を集めて研修したりすることができず、難しい面がある。私自身が感じているのは、特に高齢者の方について、ニュースポーツ、ボッチャなどを取り入れているが、日常生活の中で、いかに健康にしていくか、生活の中に運動が一貫して入るような、指導、普及などが、今、非常に進んでるという形である。案外、高齢者の方に、ヨガなどが非常に人気があり、新しい分野というか、幅広い健康維持のための運動という形が、我々スポーツ推進委員に求められていると私自身は感じている。気軽にどこでもできるようなスポーツの形がよいのではないかと感じている。

#### (山根委員)

先ほどからお話が出ているようなことと同じだが、私自身の家にも小学校から保育園の子どもたちがいるが、なぜ、子どもたちの体力が落ちてきたかという、やはりコロナの影響が一番大きいと思う。何が影響したかという、イベントがないことが一番である。

例えば、小学校、幼稚園も保育園でも運動会がない、運動会中止ということになると、運動会のために、みんなで協力して走ったり、いろいろな準備をしたりなど、体を動かすことや、頭を使うことなどが本当になくなっている。やはりイベントをやっていくことで、子どもたちがぐっと伸びていくため、そのようなイベントがなくなったことが、一番の原因ではないかなと思っている。

この間、幼稚園に行ったが、年長さんは、幼稚園へ入ったときからずっとコロナで、大きな声を出していけない、みんなで騒いではいけない、近づかないという環

境にいて、子どもたち自身が、距離をあけないといけないと言っている。「今日はいいよ、先生もいいと言われたよ、マスクもしてるしね。」と言って指導したが、子ども自身もそういう感覚になっているため、体を動かすこと、みんなでわいわいやるということをしていないというのがとても原因になっているのではないかなと思う。それから、小学校の関係でも、プールも長い間なくて、今年からようやく始まるということで、体を動かす機会が本当に減っている。

私も好きっ子事業に少し関わっているが、数日前までやろうと言っており、人数もすごく多いと言われていた。親の世代も子どもにやらせたいという気持ちがある。今年に入ってからは、少しずつ、いろいろなイベントなどが動いているため、コロナも増えているが、いろいろなことに気を付けながら、こういうイベントなどをやっていくのが一番よいのではないかと思っている。

また、高齢者の関係にも関わっており、高齢者の方も教室をやっておられたが、ずっとお休みをされていて、ようやく5月の終わりになって、あけましておめでとうございますですねという状況にもなっている。ようやくみなさんが、このままではいけないということで動き出したため、いろいろなことに気をつけないといけないと思うが、そういうイベントのようなものを、ぜひやっていただきたいなと思っている。

#### (成相会長)

地域の運動会もなくなっている。

子どもだけでなく大人も動かない状況かなというところもある。

#### (野津委員)

走ることや球技などもあるが、物が上から落ちてくるなど、とっさの緊急事態の際に、実際、普段から体を動かした方がいいのでは、避難の時でも走って逃げると思う。そういう生活の部分にも役立つということで、基本的なことは学校でされるのだろうが、できるだけやってもらいたい。

それから、今、ダンスが結構流行ってる。テレビなどでよく見るが、学校関係でも、今、ダンスをするようになってきているか。ダンスもスポーツであり、かなり体力を養われる。ただ、テレビでやっても、全体がダンスも含めて動くようになっていくかといったら、どうもそうではない。動かない人は元から動かないと思う。サッカーや野球などのスポーツをやりたいという子どもが、ダンスをやりたいと、そういう動きをしているのではないかと思っている。だから底上げにはならないのかなという感じもしている。

#### (成相会長)

御意見ありがとうございました。それでは、その他の事項は、文化スポーツ課から願います。

### (3) その他

#### ①部活動の地域移行に関する国の検討状況について

(事務局：勝部係長)

資料3について説明

### (寺本委員)

スポーツだけでなく、全体的なことであるが、昨年7月、8月に大雨が降った時に、いろいろな場所が避難場所になった。市職員さんもおられたが、なかなか地域のことについて様子がわからないということで、かなりごたごたがあったということがあった。地域移行の件も、私はコミュニティセンターへ市職員を配置すべきだと思っている。市職員、学校と地域のコミュニティセンター、その辺の調整役として、市職員をコミュニティセンターに配置していただき、様々なことを、パイプ役、調整役としてやってもらったらいいのではないかと。これは、地域移行のことだけでなく、様々なことも含めてである。そのようにやっていかないと、学校や地域だけで、話をしてもなかなか前に進みづらいのかなというイメージをしており、是非とも検討していただきたいと思っている。

### (安井委員)

地域移行に関しても、様々な課題がある。資料に書いてあるとおり、今後、持続的にスポーツに親しむ環境を、児童生徒に引き続き持たせていくということ、そのためには今の状況では成り立たないということから、地域移行という形で、教員の負担軽減、それから少子化に対応した選択肢の確保と、児童生徒の選択肢の確保という形でこの提言がされている。

この課題というのは、全国と同様なものが本市にもあると思っており、先ほど事務局からもあったように、内部でも検討しながら、皆様方の力もお借りしながら検討を進めたいと思っている。先ほど寺本委員さんからあったが、地域のことがわかる方というのは、キーパーソンとして非常に重要ではないかと思っている。スポーツの部活だけではないが、今、中学校区ごとに、地域学校協働推進本部というものを作っているところである。今、14中学校区中、5校区でそういった方に携わっていただいております。今は、例えば、ふるさと教育やキャリア教育の地域の情報をいただくような役割が主であるが、その範疇に、そのようなことも入るのかなという気もしている。ただ、この方だけに任せるとするのは、非常に荷が重くなるため、コミセンなど、いろいろな受け皿を検討していかないといけないかなというところであるが、趣旨としては、おっしゃるように、地元をよくわかるという方を含めて進めるべきかなと思っている。

それと、地域という言葉についても、小さい中学校区単位で受け皿があるかと言えば、そうでない場合もあるため、オール出雲、あるいは東部西部で考えるなど、いろんなケースがあると思うが、そうした形で進めたいと思っている。このような会議での御意見も参考にしながら、進めていきたいと考えているところである。

## ②新体育館整備運営事業のスケジュール等について

(事務局：藤井室長)

資料4について説明

### (手銭委員)

予定通り進捗がスムーズだということを聞き、令和6年度に立派な体育館が開館されるということを楽しみにしている一人である。

小体連の会長をしていると、いろいろな教育関係者から問い合わせがあり、特別支援の合同学習をする施設が今まで通りあるか、研究大会ができるのかなど、具体的には、平田の体育館と斐川の第2体育館がかなり老朽化しているため、こ



の新体育館の建設と同時に取り壊されるのではないかと、令和6年度にはあるのかなどといった問い合わせがある。自分にはそれは計り知れないため、もし市へ伺う機会があれば伺ったうえで、またお返事しますということにしていたところである。アクションプランには、老朽化も進行していることから、今後適正な維持管理に努め、長寿命化を図る必要があるとあるが、耐震化して長寿命化するのか、あるいはもう取り壊すということが具体的に出ているのか、その辺を教えてくださいたいと思う。

(事務局：藤井室長)

斐川第2体育館と平田体育館の話でよいか。

新体育館ができると、供用開始から5年以内に、旧出雲体育館を合わせて取り壊さないといけないということになっている。ただ、取り壊す時期については、まだ決まっていない。対象は平田体育館、斐川第2体育館、旧出雲体育館の3施設である。

### ③第84回(2030年)国民スポーツ大会の会場地選定状況について

(事務局：勝部係長)

資料5について説明

(成相会長)

国スポのことだが、陸上競技などはっきり決まっておき、開会式も決まっている。そうすると、決まってる部分はある程度想定していかないと、8年後には間に合わないのではないかと。今から、市として問題点などを出して、問題提起していくべきである。メイン会場で、おそらく、もうその頃にはコロナがある程度落ち着いていると思う。そうすると、天皇皇后陛下にお越しいただけるとしたら、どのような開会式にされるかわからないが、そういった部分も含めて、市から、県に対してどんな改善点などを言っていかなければいけない。陸上競技も、いろいろ問題点があるようであるから、そういった部分も含めて早くしていかないと。まだ、完全にしっかり動いてないので、国スポについて、決まってる部分に関しては、やはりどんなこちらから県に対して、どうしていかれるのかと言うぐらいのことをしていかないと、前進しないのではないかとと思うので、ぜひ声掛けしていただきたい。

(事務局：矢田課長)

浜山公園陸上競技場については、以前から市も要望をしている。浜山公園野球場では野球大会も行われるが、令和2年度にはバックスタンドの改築工事も実施された。以前から要望しているが、国スポも見据えた形で、必要な施設、改善について、引き続きしっかり要望していかないといけないと思っている。

国スポの視察についても、5年前じゃなく、もっと早い段階で入られるため、課題整理なども、もう少し早い段階で進んでいくのではないかとと思っている。市としても、しっかりと情報収集しながら、県と連携しながら進めていきたいと思っている。

### ④市内のeスポーツの取組状況について

(事務局：勝部係長)

パンフレットに基づき説明

(事務局：矢田課長)

以上で第1回出雲市スポーツ振興審議会を終了する。  
本日はありがとうございました。